

令和2年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
—	—	河野 訓	学長・教授	宗教学・仏教学	(1)漢訳仏典と儒仏道三教交渉史の研究 (2)20世紀中後半における中国仏教寺院の変貌の研究 (3)宗教都市伊勢における神仏分離の研究 (4)明治維新の神仏分離の全国展開に関する研究 (5)神道と仏教以外の世界の諸宗教に関する研究
文学部	神道学科	板井 正斉	教授	宗教社会学、宗教民俗学、福祉文化論、神道福祉論、GIS	①地域神社に関する地理空間(GIS)分析 ②神社を参拝する人々の情報発信に関する複合的研究 ③宗教施設を地域資源とした地域防災のアクションリサーチ ④GISを活用した分野横断型研究プラットフォーム構築にむけた基礎的研究
		加茂 正典	特命教授	神道史・日本文化史	前近代における国家と祭祀の史的研究 ① 鈴木重胤関係資料の蒐集と研究。 ② 吉田神社社家鈴鹿家文書の研究。 伊勢神宮祭祀と朝廷祭祀の史的研究
		中山 郁	教授	宗教学(山岳宗教・修験道研究、戦争慰霊研究) 高等教育研究	① 海外戦没者慰霊の研究—パプアニューギニア・ミクロネシア地域を中心に— ② 近現代における山岳霊場とその担い手の変容に関する研究 ③ アクティブラーニング(7AL)を活用した初年次・ゼミ教育の実践的研究
		松本 丘	教授	神道学(特に神道史・神道思想史)	1、垂加神道を中心とする江戸時代神道史の研究 2、崎門における神道・儒学思想の研究
		岩城 隆宏	特命准教授	装束に関して	現行の装束規定について検証する
		板東 洋介	准教授	日本思想史、神道思想史	神道思想の哲学・倫理的再検討
		黒田 宗篤	助教	神宮学・言語文化学・神道学	①牟礼仁先生の残した神宮に関する研究を参照しつつ、学問としての神宮学、学問体系としての神宮学を成立させました。後者を出身校の大阪大学レベルに達するまで軌道に乗せます。 ②潮江天満宮社家の研究を神学、身体論を中心に研究します。 ③安倍内閣、国土交通省の検討課題である関係人口論を皇学館大学に導入できるよう検討します。
	国文学科	大島 信生	教授	上代国語国文学	1、万葉集の訓詁注釈的研究 2、日本書紀の研究
		上小倉 一志	教授	書道	・魏「范式碑」の研究(継続中) ・隷書から楷書への過渡期の文字変遷とその表現法に関する研究(継続中) ・韓天寿『岡寺版集帖』に関する調査・研究(継続中) ・硯と墨色の研究(継続中)
		齋藤 平	教授	日本語学・社会言語学	① 津波記念碑の社会言語学的研究 ② 三重県方言の研究 ③ 近似字形の研究
		田中 康二	教授	日本近世文学(国学)	江戸時代中期に発祥した「国学」について、古代・中世にルーツを持つ「歌学」からの連続性と断絶という観点と、近代以降現代に及ぶ国文学研究、さらには古典教育への断続性という観点の二つの視座から、国学者の残した業績を見直す作業を行う。また、それらを通時的に貫通する「日本古典学」を構想することを目標とする。
		深津 睦夫	特別教授	日本中世文学	(1) 神道と和歌との関係 (2) 勅撰和歌十三代集について
		松下 道信	教授	漢文学、中国宗教思想、道教	・道教(北宋～元までの全真教・内丹道について) ・神道と中国思想、特に道教思想とのかかわりについて
		岡野 裕行	准教授	書物文化の研究、読書とコミュニケーション、文化情報資源の活用	①公共図書館や教育機関におけるデジタル化の導入効果・普及状況について ②ウィキペディアタウンの可能性について ③一箱古本市やまちライブラリーなどの「人と人をつなぐ」ための本の活用方法について ④大学図書館における学生協働のあり方について

令和2年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部	国文学科	小堀 洋平	准教授	日本近代文学	田山花袋周辺における海外文学受容の研究
		千邑 淳子	特命准教授	マイクロライブラリー、公共図書館と地域	①マイクロライブラリーの可能性 ②公共図書館における地域との連携と地域活性化
		吉井 祥	助教	中古文学	平安時代の社会における和歌の役割
	国史学科	遠藤 慶太	教授	日本古代史	倭王権の中心基盤であった畿内や周縁にあたる伊勢・美濃の地域史を比較しながら、広がりをもつ古代の東国について検討を行う。そのために東海地方の古代遺跡や伝承地の見学調査を行いながら、文献史学の立場に徹して、地域的特質の考察を深めたい。
		岡野 友彦	教授	日本中世史	① 中世公家社会と公家領荘園に関する研究 ② 北畠親房に関する研究 ③ 中世の伊勢神宮と神道・神社に関する研究 ④ 源氏長者に関する研究 ⑤ 古文書の料紙に関する研究
		多田 實道	教授	日本中世史	神宮と仏教の関係についての研究
		松浦 光修	教授	近世日本思想史	幕末国学の研究
		谷口 裕信	准教授	日本近代史・地方行政史	①近代日本における郡の地域形成と展開について ②御師廃絶後の旧御師の活動について
		堀内 淳一	准教授	東アジア古代外交史・コンテンツ文化史	(1) 古代における日本・朝鮮・中国を中心とした外交関係 (2) 日本における魏晉南北朝史の展開 (3) 日本における中国イメージ形成の展開について
		谷戸 佑紀	助教	日本近世史	① 近世国家における伊勢神宮の位置づけに関する研究 ② 近世の神社に関する研究 ③ 近世社会の統治システムに関する研究
		長谷川 怜	助教	日本近現代史 満洲経営 戦争と宗教 満蒙開拓団の戦後 図画像史料研究	① 日本の満洲進出と国内向けプロパガンダの研究 ② 戦時期における宗教(特に仏教)と戦争との関係性に関する分析 ③ 満蒙開拓団引揚げ後の国内での生活再建について福祉史的観点から踏まえ、天理教開拓団を事例として分析 ④ 古写真・絵葉書など図画像史料の歴史学への活用 ⑤ GISを活用した分野横断型研究プラットフォーム構築にむけた基礎的研究
		コミュニケーション学科	張 磊	教授	ICT
	豊住 誠		教授	英語教育学	英語教育の理論および実践にかかわる研究
	芳賀 康朗		教授	心理学	① 学部における心理学専門教育の導入に関する研究 ② 大学生の共感体験に関する心理学的研究
	クリストファー・メイヤー		教授	日本中世史	(1) 日本中世における集会的(集団的)記憶形成に関する研究 (2) 中世文学と歴史の接点に関する研究

令和2年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
文学部	コミュニケーション学科	川村 一代	准教授	小学校英語教育、中学校英語教育	・小学校英語教育における指導と評価の一体化を図るバックワード・デザインの授業づくり ・中学校英語教育における指導と評価の一体化を図るバックワード・デザインの授業づくり ・小・中・高・大を通じたスピーキング指導
		桐村 喬	准教授	人文地理学・地理情報科学	総合的な時空間GISデータベースの構築と分析手法の開発
		栗野 理恵子	准教授	臨床心理学, 音楽療法	① 初めてのフォーカシング指向音楽聴取を体験した大学生の心理・生理的反応——特性不安レベルによる比較検討—— ② 青年期の一般的な音楽聴取行動がもたらす心理的成長
		藤井 恭子	准教授	地域社会学・教育社会学・社会調査法	①大学生の幸福を生み出す諸要因の検証 ②若者によるソーシャルビジネスに関する研究
		高沢 佳司	助教	臨床心理学	身体感覚へと能動的に注意を集中することで、既に経験した嫌な出来事に関する記憶に対する認知的再評価(i.e., 苦痛な体験への認識が肯定的に変化)を起こすことが可能である。中でもフォーカシングという方略の認知的な媒介要因となる解釈レベルの検証を行う。同時に、パーソナリティ要因としてどのような特性がこのプロセスに関与するか検討する。
		玉田 貴裕	助教	英語学	古英語期から中英語期にかけての結果構文の生起条件の変化について
		中山 真	助教	心理学	①対人ストレスイベントにおける事後的・能動的コーピングと成長感の関連 ②宗教意識とクリティカルシンキングに関する研究
教育学部	教育学科	大杉 成喜	教授	特別支援教育・教育工学	・障害のある児童生徒の教材開発・実践研究 令和2年度～4年度科学研究補助金(申請中:研究代表:大杉成喜)「視線入力等を活用した重度身体障害児者の遠隔eSports参加による自己実現」 ・小さい子ども・知的障害のある子どものプログラミング教育に関する研究 ・三重県の地域の課題に応じた特別支援教育にかかる実践的研究
		加藤 純一	教授	体育科教育学 武道思想史	○体育・保健体育における授業展開について、特にICT機器を用いた授業の構築について考察を深める。 ○『兵法家伝書』における「敬」について ○韓国剣道の動向調査
		加藤 茂外次	特命教授	美術・絵画	油彩および版画の表現方法と技法
		叶 俊文	教授	体育心理学	体育における動機づけについて 体育授業におけるいじめ発生要素の検討
		小孫 康平	特命教授	教育方法学、教育工学	(1)情報モラル教育に関する研究 (2)AIの教育活用に関する研究 (3)メディアリテラシー・ゲームリテラシーに関する研究
		駒田 聡子	教授	食育 教科教育(家庭科・総合的な学習の時間)	1. 保育教育現場における食物アレルギー児支援 2. 保育・教育現場における食育、環境の在り方 3. 実践を伴う幼児教育・教科教育の在り方について(幼稚園、こども園、小学校)
		杉野 裕子	教授	算数教育・数学教育	・算数・数学におけるコンピュータプログラミング活用に関する研究 ・数概念の育成のための算数教具および幼児玩具の開発 ・算数の授業における情報処理
		中松 豊	教授	応用昆虫学 理科教育学 生活科教育学 環境教育学	昆虫の生体防御機構の解明 保育園から高等学校理科の生物基礎における昆虫を使った教材開発

令和2年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
教育学部	教育学科	深草 正博	特命教授	①社会科教育学 ②環境世界史学 ③フランス近世史 ④創造性工学	①と④では、子どもの創造性育成のための方法論の模索 ②では、気候および自然破壊と歴史の相関関係の考察 ③では17世紀危機論の展開
		吉田 直樹	教授	発達心理学・環境心理学・臨床心理学	子どもの心理的発達を支援する教育環境の構成
		渡邊 賢二	教授	教育心理学, 家族心理学	児童期から青年期の親子関係, 親子間葛藤, 子育て支援 小中学生と教師の支援
		秋元 雅仁	准教授	発達障害学 インクルーシブ教育学	どの子ども安心して、他の級友らと共に同じ内容を学ぶことのできる学校や学級を目指して、「あればできる」教材や教具の活用を促すとともに、誰をも対象としたユニバーサルデザインをめざした授業改善に資する方策等を検討する。
		市田 敏之	准教授	教育行政学	アメリカにおける科学技術人材育成政策に関する研究
		井上 兼一	准教授	教育史学	昭和戦前期における宗教的情操教育に関する基礎研究 1930～40年代における学制改革の再検討 戦後三重県における教育委員会の政策と活動に関する基礎的研究
		梶 美保	准教授	小児保健、子育て支援に関する研究	① 保育所入所乳児の下痢症罹患率調査によるロタウイルスワクチンの有効性評価 ② 成人期に達した小児急性リンパ性白血病患者の知的および社会的発達に関する研究 ③ 三重県下の子育て支援拠点施設における質の向上に関する研究 ④ 幼児教育・保育のリスクマネジメント
		片山 靖富	准教授	健康科学	・身体活動の増加ならびに運動の習慣化を促す研究(運動プログラムの開発) ・地域スポーツイベントが運動習慣の定着や維持, 身体活動量の増加に及ぼす影響 ・公園や空き地など運動やスポーツをする場(空間)の減少の事実調査および空間の減少と子どもの体力低下との関係 ・大学生体力と学力との関係/大学体育授業の教育効果
		佐藤 武尊	准教授	自然科学(柔道)	(1) 国際柔道選手競技分析研究 (2) 柔道授業におけるIT機器活用に関する研究 (3) 中学生柔道選手における身体特性に関する研究 (4) 柔道初心者における頭部外傷に関する調査
		高橋 摩衣子	准教授	音楽教育	●学校音楽教育/幼児音楽教育の現状および時代に即した教員/保育者養成に関する研究。 ●日本における多文化音楽教育の変遷に関する研究。 ●教員・保育者養成課程における学生ミュージカル創作実践の教育的効果
		中條 敦仁	准教授	国語教育学 言語教育学	国語教育学: 国語科教育の方法、教材分析法に関する研究及び ICT 機器使用に関する研究とその教材開発 言語教育: 絵本の読み聞かせ実践と絵本の分析
		土谷 長子	准教授	幼児教育・保育学	乳幼児の発達とそれにふさわしい保育環境・指導のあり方
		野々垣 明子	准教授	成人教育史、教育哲学	①19世紀から20世紀前半アメリカの成人教育運動の展開と日本への影響 ②昭和20年代の日本における社会教育の動向 ③教育目的論の検討
		山本 智子	准教授	障害児教育学(指導法) 教育カウンセリング 学校心理学	1. 肢体不自由教育の史的研究 2. 特別支援学校における授業改善 3. 教育カウンセリングと発達支援
吉田 明弘	准教授	児童福祉・保育	・児童養護施設退所者のアフターケア(就労支援) ・社会的養護をめぐる諸課題(子どもの貧困、里親制度) ・生活史研究		

令和2年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
教育学部	教育学科	渡邊 毅	准教授	道徳教育	作成した道徳教科書・副読本を活用した授業方法の研究。 道徳教育の教育的効果に関する研究 道徳教育と生徒指導の接続に関する研究。
		澤 友美	助教	理科教育学、環境教育学、昆虫生理学	保育所、幼稚園、小学校1年生、3年生、6年生、高等学校における昆虫を用いた出前授業の現場の教員との共同実践。また、小学校2年生、4年生、5年生、中学校における新たな教材開発。高等学校「生物基礎」の食作用の観察に使用する体液の保存方法と供試方法の検討。南アフリカ共和国のノースウェスト大学との共同研究における環境問題への取り組み。
		萩原 浩司	助教	社会科教育におけるエネルギー学習の歴史的分野	社会科教育におけるエネルギー学習は持続可能な社会の実現にとって不可欠なものである。エネルギー問題という社会問題を授業化する上で、通常の社会問題を考えるにあたり求められる問題に対する歴史的なアプローチが現在ほぼなされていない。従って、エネルギー学習における歴史的思考の理論的必要性と、授業実践における意義を明確化することが本研究の課題である。
		吉本 隆哉	助教	スポーツバイオメカニクス、運動生理学、トレーニング科学	等速性股関節屈曲・伸展トルクの改善がスプリント能力に及ぼす効果
現代日本社会学部	現代日本社会学科	鶴沼 憲晴	教授	社会福祉法制 成年後見制度	意思決定支援を活用した成年後見制度のあり方について
		笠原 正嗣	教授	「クルマの社会化」による社会的弱者の移動環境整備	「社会のクルマ化」つまりクルマ依存が進み、公共交通網衰退が著しい地方都市における、高齢者や身体障害者の移動環境確保の重要性について研究を進める。福祉車両や新たに開発が進む自動運転自動車の技術革新による高齢者等の社会的弱者にも対応する「クルマの社会化」を分析することで、クルマの進化を通じた社会貢献の可能性について考察を深める。
		岸川 政之	特命教授	SB(ソーシャルビジネス)について	地域の課題などをビジネスの手法で解決していくSBをテーマに、皇學館大学をメイン会場に開催される「全国高校生SB交流フェア」において、全国の高校生や関係団体の取組みを研究し、地域課題の解決方法のヒントを探す。また、学んだSBの手法をどうすれば地域課題の解決に結び付けられるかを伊勢志摩地域を舞台に考える。この取り組みは、社会臨床実習の受講生および有志(皇學館大学SBPなど)を中心に進めていく。
		関根 薫	教授	老年社会学	①老人クラブの「支え合い活動」に関する研究 ②社会福祉協議会における法人後見についての研究
		千田 良仁	特命教授	農林水産業経済学、開発経済学、地域活性化論、地域イノベーション論	・農林水産業経済学、経営学視点からの実証的、計量経済学的研究 ・地域の活性化および地域イノベーションに関する実証的研究 ・地域食文化研究
		筒井 琢磨	教授	地域社会学	地域社会における市民参加の現状と課題に関する研究(継続)
		富永 健	教授	憲法学	①国体法の研究 国体と憲法との関係に関する研究 ②政教関係の研究 現憲法および明治憲法下の政教関係問題の考察 ③憲法改正論の研究
		新田 均	教授	近代日本の政教関係	「国家神道」概念および「国家神道」研究史の再検討 皇位継承問題 神道と麻との関係 戦前の皇室の社会事業
		橋本 雅之	教授	上代文学・神話学・日本文化論	古風土記の受容に関する研究 奈良時代に編纂された風土記が、江戸時代においてどのように受容されたのかについて、とくに常陸国風土記と水戸学の関係を中心に研究する。
		岩崎 正彌	准教授	日本の伝統文化	日本の伝統文化 ～ その探求と継承、未来への創造と応用～ 基礎:我が国の伝統文化の詳細と本質を学び、その精神的な根源を探求する。 応用:我が国の伝統文化の継承と発展のため、伝統文化教育の内容を構築する。 展開:我が国の伝統文化の未来への創造のため、具体的な方法論を開発し、実践する。
瓜田 理子	特命准教授	民族音楽学	大礼と神宮式年遷宮からみる神楽秘曲の基礎的研究		

令和2年度 研究・教育課題一覧

学部	学科	氏名	職名	研究分野	研究・教育課題
現代日本社会学部	現代日本社会学科	榎本 悠孝	准教授	障害者福祉分野	精神障害者を対象としたグループホームからの退所を阻害する要因に関する研究
		遠藤 司	准教授	経営思想、事業開発	従業員エンゲージメントを高めるための経営システムの検討(とくに伝統的な日本の経営観に基づく経営システムについて)。
		大井 智香子	准教授	社会福祉	人口流動化する産業衰退地域の再生と生活困難者の地域就労を結ぶ支援モデルの開発 本研究は、地場産業の衰退とそれらを支えてきた不安定就業層の高齢化・生活困窮化の同時発生という課題に対し、人口流動化時代に対応する生活困難者の福祉的支援と衰退産業の地域再生を結ぶダブル・チャレンジを可能とする生活支援モデルの開発を目的とする。
		中野 一茂	准教授	社会福祉	ミリタリーソーシャルワークの日本での援用について。 満蒙開拓団の戦後―天理村開拓団の生活再建と社会保障
		尾崎 剛志	助教	社会福祉学(障害者福祉)	精神病患者のリワークに関する研究 障害者と地域共生(地域包括ケアに向かう歴史の変遷) 障害者雇用と就労支援
オシアフヨドインミッス		田浦 雅徳	特命教授	日本近現代政治外交史研究	重光葵および松岡洋右の研究 幕末維新～明治初期研究
教育開発センター		中村 哲夫	特命教授	体育・スポーツ史	1. 第2次世界大戦後国際オリンピック委員会の再活動と1948年オリンピック大会の開催 2. 近代日本のメディア・イベントとしてのスポーツ大会
		池山 敦	特命准教授	コミュニティ政策	東日本大震災における津波被災自治会の再建過程の検証、その中で特に地域自治会の「再生・新設・融合」の3類型における地域課題とその解決法を通して、地域自治会の持続可能性を検証する。
		濱畑 静香	准教授	日本語学、日本語教育	・日本語学習者の口頭運用能力向上に関する研究 ・EPA(経済連携協定)による外国人看護師候補者の日本語運用に関する研究 ・災害時の外国人に対する日本語支援について
研究開発推進センター		荊木 美行	教授	日本古代史	・『古事記』『日本書紀』『新撰姓氏録』・風土記を中心とした古典籍の研究 ・ヤマト政権成立過程の研究。
		佐野 真人	准教授	日本古代史・神道史	日本古代における朝廷祭祀・儀礼の研究
		浦野 綾子	助教	近世文学	長野義言および国学者の研究
		塩川 哲朗	助教	神道史、祭祀研究	古代の宮中祭祀と神宮祭祀の構造および神道古典の研究 古代朝廷で齎行されてきた大嘗祭・新嘗祭をはじめとする天皇祭祀や国家祭祀の構造と、伊勢神宮の祭祀構造を比較検討しながら、それぞれの特徴及び本義を闡明にすることを目的とする。 併せて神道古典に見られる伝承・記録と祭祀の関係性を考究する。